

小児保健・保育学ゼミ 韓国ソウルでのフィールドワークを実施しました

小児保健・保育学ゼミでは、6ゼミ合同で2026年2月24日～27日に韓国（ソウル）へフィールドワークに行ってきました。

現地では、韓国の歴史や文化を理解するため、景福宮や北村韓屋村を訪れ、伝統的な建築や街並みを体感しました。歴史的な空間の中で文化的背景や社会の成り立ちを学び、日本との共通点や違いについて考えることで、子どもたちの生活や成長を支える文化的環境について理解を深める機会となりました。

また、ソウル市民の生活文化や地域の雰囲気を知るため、京東市場（キョンドン市場）を訪問し、地元の人々の日常生活や食文化、地域コミュニティの様子を観察しました。市場の活気や人々の交流の様子から、地域社会の中で育まれる生活文化や、人と人とのつながりについて学ぶ貴重な機会となりました。

さらに、学生の自由行動では、若者文化の発信地として知られる聖水や東大門などを訪れ、韓国のファッションやライフスタイル、都市の活気を体感しました。実際の街の様子を体験することで、子どもたちを取り巻く社会や文化の多様性について理解を深めました。

このフィールドワークを通して、学生たちは海外の文化や社会を直接体験し、多様な価値観や生活のあり方に触れることで、子ども理解や教育・保育の実践に活かす視点を広げる貴重な学びの機会となりました。



